



議会だより

ガガ
わ
ま

6月定例会

6月定例会審議結果

委員会の動き

一般質問 町の考えを問う

No.114

平成28年7月25日

6月定例会 議案審議結果

平成28年6月定例会は、6月8日から6月14日までの会期7日間で開催されました。主な議題は、補正予算2件、契約の締結1件、人事案件1件、議員提出議案1件など、8議案を審議しました。また、一般質問は8人が登壇し活発な質問が展開されました。議案の審議結果は次の通りです。

専決処分

■議案第37号 専決処分の承認を求めることについて（川島町税条例等の一部を改正する条例）

地方税法等の改正に伴い、川島町税条例等の一部を改正したものです。
（全員賛成・承認）

■議案第38号 専決処分の承認を求めることについて（平成28年度川島町一般会計補正予算（第1号））

熊本地震災義援金のため、歳入歳出それぞれ30万円を追加したものです。
（全員賛成・承認）

条例

■議案第39号 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

管理職員の管理職特別勤務手当の支給にあたり、条例の改正をするものです。
（全員賛成・可決）

補正予算

■議案第40号 平成28年度川島町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ4,333万6千円を追加するものです。主なものは、平成の森公園ライトアップ・試食会イベント開催業務委託料、タウンプロモーション業務委託料等の追加です。
（全員賛成・可決）

■議案第41号 平成28年度川島町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ160万円を追加するものです。主なものは、地域ケア会議事業の臨時職員賃金等の追加です。
（全員賛成・可決）

契約の締結

■議案第42号 工事請負契約の締結について（川島町子育て支援拠点施設整備工事）

川島町子育て支援拠点施設整備工事について、請負金額1億22万4千円で（株）島村工業と契約を締結するものです。
（全員賛成・可決）

人事

■議案第43号 固定資産評価員の選任について

固定資産評価員に小澤浩氏を選任するものです。
（全員賛成・同意）

議員提出議案

■議提第3号 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しについて
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しについて、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿った検討を行うことを求めるものです。
（全員賛成・可決）

各議員の賛否

議案	議員氏名												議案結果		
	松原謙司	稲村美代子	小峯松治	遠山尚	新井悦子	栗岩輝治	爲水順二	飯野徹也	森田敏男	菊地敏昭	道祖土証	山田敏夫		小高春雄	石川征郎
町長提出	議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出	議提第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

（○は賛成、×は反対、－は議長）

（※議員名は、議席順となっております。）

総合戦略の取り組みを加速化する交付金を申請

●議案第40号「平成28年度川島町一般会計補正予算(第2号)」について

問 地方創生加速化交付金の決定時期はいつ頃なのか。

答 3月に加速化交付金を申請しましたが、それについては採択されなかったという結果でした。今改めて事業内容を煮詰め、さらに具体的な部分を盛り込んで、2次分として申請しました。県への提出は6月10日が期限となっており、結果は6月中に示される予定です。



川島町観光案内パンフレット

問 地域資源魅力創出事業のプランニングを行うということだが、今回の交付金を受けられることが決まったら、事業効果が出るような取り組みを検討してほしいが。

答 タウンプロモーションということで、町の農産物加工品や観光の名所などの、包括的なPR活動を行います。JTBなどの企業の活用により、観光情報誌などを、首都圏内のポイントに設置する対応を考えています。

町の観光資源を、どのように位置づけていくかということについても、町職員だけではなかなか効果的な方法を見だせない状況ですので、委託業者の知識等をいただいた中で、進めていければと思っています。また平成の森公園のライトアップと周辺のイルミネーション化を考えていますが、もし採択されず町独自財源として実施するとしたら、一部規模の縮小などもあり得ると考えています。

問 今回の地域資源魅力創出事業については、JTBなどへの業務委託を考えているが、委託業者の考え方で業務を進めるのか。

答 委託業者だけでなく、農業青年会議所や農業団体、JAや商工会などを委員として、民意を入れる形で協議会を作り、事業を進めて行きます。そこに不足する知識等を、委託業者から取り入れていく予定です。

問 町職員が自分の足で稼いだ情報や、昔の川島の歴史など、ひととおり文化や歴史をたどり、事業を考えていったほうがよいと思うが。

答 町職員についても、町の情報などは多々把握しているが、コーディネート、発信する力は、残念ながら弱い状況です。委員会を集めて議論しても、確かに意見はたくさん出るかとは思いますが、どのように進めて行くかという段階になると、なかなかまとめ

れないといった状況になってしまおうと思います。委託業者を入れ、委員会の席の傍らに同席することで、議論の中に不足する技術や知識などを、補ってもらいたいと考えています。

委員や職員は、町のことはよく知っているが、事業化するノウハウが不足している。一方委託業者は、事業化のノウハウには長けているが、町の情報はよく知らない状況で、それがうまくマッチングできれば、良いものができると思っています。

地方創生加速化交付金とは？

1 億総活躍社会の実現に向けた緊急対策として、実施する地方創生事業に要する経費に対して交付されるもの
(補助率10/10上限あり)

子育て支援拠点施設(旧町立幼稚園)平成29年4月開設予定!

●議案第41号「平成28年度川島町介護保険特別会計補正予算(第1号)」について

問 介護認定の会議と地域ケア会議の関係は。

答 介護認定は、これまでどおり比企広域の認定審査会で実施し、その認定に基づき、プランの提供をさせていただきます。

問 地域ケア会議は、専門職を含むケア会議で、ケアマネジャーが策定したケアプランを検証し、自立に向けサービス内容等を検討していきます。

答 要支援1から要介護5の人数は、平成26年度末現在、要支援1が84人、要支援2が98人、要介護1が148人、要介護2が165人、要



ハッピー体操

介護3が151人、要介護4が129人、要介護5が130人で、計905人です。

問 臨時職員は、専門職か。

答 主な業務はケアプラン策定に向けた事務作業なので、専門職では考えておりません。

問 コーディネーターなど職員の役割は。

答 今年度は、ケア会議に県から管理栄養士等の専門職員を派遣していただきますが、最終的にはコーディネーターは、町職員が実施するものと考えています。また、今年度は、県内で1番の先進地である和光市のコーディネーターがコーディネートをする予定で、それを学びながら来年度からは、町職員がコーディネーターできるような、職員の養成も併せて実施していきたいと考えています。

●議案第42号「工事請負契約の締結について(川島町子育て支援拠点施設整備工事)」について

問 車椅子対応階段昇降機は、どの

ようなものか。

答 階段の内側に沿って車椅子に乗ったまま2階に上がることができる設備です。エレベーター設置も検討しましたが、費用を考慮し、この設備を採用しました。

問 施設外の整備内容は。

答 学童保育室の南にある車庫と物置は、解体・撤去し学童保育室北側の物置は残します。障がい者用駐車スペースを施設の北側に1台分用意し、既存の2か所の避難用すべり台は残し、南側駐車場から園庭を通じて、入口に行くための通路も整備します。また、今回の整備工事では屋上防水と外壁の補修、塗装工事も実施します。

問 開設予定時期は。

答 年内に整備工事を終わらせ、来年4月からのオープンを予定しています。

問 予定している業務内容は。

答 相談業務だけでなく、子育て支援センターや保健センターの事業を



旧川島幼稚園

集約し、既存の事業も含め、この施設で実施を考えています。また、不登校の児童、生徒を対象とした相談業務、適応指導等を実施しているスクリーニング・サポートセンターも、施設の2階、2部屋で実施を考えています。

問 床はどのような素材のものになるのか。

答 子育て支援センターについては、衛生面を考え、クッションフロアで、その他の施設については、長尺塩ビシートになります。

町の考えを問う

町政一般質問要旨 6月13日、14日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道路線について ・ぐるっと川島巡回バスについて ・知的、発達障がい未就学児童への保育、療育について 	<p>稲村 美代子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎について ・子育て支援について ・町道3052号線について 	<p>小峯 松治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災対策について ・県道整備について 	<p>道祖土 証 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町の学校教育の充実について ・スポーツ・レクリエーションの充実について 	<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統廃合について ・川島学童クラブについて 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長公約の進捗状況について ・町の教育について ・町の情報発信等について 	<p>松原 謙司 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春まつりについて ・農業振興と農地保全について 	<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法について
--	---	---	---	---	--	--	--



問 巡回バスの運行
変更理由は何か

答 利用者が「やすらぎの郷」
に限定している

栗岩輝治

問 交通弱者にとって、町内巡回バスは、途中下車も出来、予約無しで無料で、大変助かっていた。運行変更とした理由は何か。

答 政策推進課長 利用者が、やすらぎの郷に限定しており、総合的に判断して決めた。費用は350万円の削減が見込まれる。かわみんタクシー1回500円を利用して欲しい。

問 途中下車する利用者は何人か。

答 政策推進課長 途中下車数は少数ですが人数の把握はしていない。やすらぎの郷利用者は、年間1万3千人です。

問 バス利用者への変更説明の方法は。

答 政策推進課長 町担当者がやすらぎの郷や、区長会などで説明をして来た。バス内や停留所にも変更内容を貼り出して来た。

問 従来の途中下車の利用者にとっては、困るとの声が寄せられている。半年後の見直し変更は可能か。

答 政策推進課長 変更しない事もあります。問合せは8件きている。

問 中山、伊草地域（市街化区域）の未舗装の場所がいつまで経っても舗装されずに困っている。見直しは、

答 まち整備課長 計画を立て、順次に舗装化を進める予定です。

問 未舗装場所が12カ所あるが、見直しはどうか。

答 まち整備課長 側溝、道路幅、境界などを確認しています。

問 発達未就学児童の受け入れ施設を来年開設の「子育て支援センター」内に設置する考えは。

答 子育て支援課長 設置は考えていません。



町内巡回バス



委託公衆電話

問 庁舎には公衆電話がありませんが、設置の予定は。
答 政策推進課長 N T Tの公衆電話は平成の森公園にあります。移設するには費用がかかるため、かわみんタクシーを呼ぶ場合等は職員が対応します。今後、費用対効果を考え、コンビニにあるような委託公衆電話を検討します。

問 子育て短期支援事業、病児・病後児保育事業の進捗について伺います。
答 子育て支援課長 医療センターの意向もあるので、折を見て検討していきます。
問 現在、子育て事業は様々な部署で行われており、利用者にとって分かりづらい。一本化する考えは。
答 子育て支援課長 平成29年度開設の子育て支援拠点施設を核としてまとめていければと考えています。
問 町道3052号線の工期と総額について伺います。
答 まち整備課長 工期は概ね3か年で、2億円を見積もっています。



問

公衆電話の設置予定は

答

費用対効果を考え、委託公衆電話を検討

稲村 美代子

問 東日本大地震の復興が道半ばの今年4月14日、16日に渡り2回震度7の地震が熊本県地方に発生した。この大地震により多数の死傷者、建物の崩壊、また道路、橋、水道などのインフラも甚大な被害が出た。避難所から退所の目的が立たず、住民の生活再建、住宅の確保等が喫緊の課題だとあります。また今回の熊本地震で、防災計画の見直し、自主防災組織のあり方等々多くの課題が顕在化したとあります。この事から、町の地域防災計画の地震想定に対する対応計画は十分か伺います。
答 町長 防災体制の更なる充実を

地震想定に対する対応計画は十分か

発生率の高い茨城県南部地震に備え万全を尽くす

小 峯 松 治

問 今回の課題にも、機能しない自主防災組織とあったが、町の組織率と課題について伺います。
答 町長 平成27年12月に全地区で57の自主防災組織が設立され組織率は100%です。課題としては、会長の任期が1年である自主防災組織が多いため、次年度へのスムーズな事業の継続が心配される所です。
問 水道などのインフラ対策は。
答 町長 今年度水道事業ビジョンを策定するとともに、水道施設の耐震化計画を策定する予定です。



川島町防災倉庫



ソフトボール教室

問 スポーツ都市宣言の町として、恥ずかしくないスポーツ施設の整備・拡充の考えは。

答 生涯学習課長 誰でも気軽に出来るスポーツ・レクリエーションの普及活動と施設の整備を計画的に行い、スポーツ環境の整備を図っていき、有害時の高台避難場所を活用したグラウンドの整備等検討していきます。

問 今後のスポーツの振興・育成は。

答 生涯学習課長 住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設や活動の支援を考えています。

問 当町出身のアスリートを活用する考えは。

答 生涯学習課長 今後ソフトボール教室を開催するときは元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏のご協力をと考えています。

問 高台避難場所をソフトボールグラウンドとしての整備や、中学校にソフトボール部の復活等宇津木妙子氏を招く為の環境整備の考えは。

答 教育長 ジュニアソフトボール教室を継続実施し、競技人口拡大に努めます。

問 外部指導者の増員や合同練習など、複数部活動の入部などを考え、中学校の部活の数を増やす考えは。

答 教育長 校長会などで検討します。

問 川中・西中ともに文化部は吹奏楽部と美術部の2クラブだが、書道部など増やす考えはないか。

答 教育長 音楽・美術・書道は高校の選択教科なので、校長会と連携し、質問の趣旨を反映したいと考えています。



問 当町出身のアスリートを活かす考えは

答 宇津木妙子氏(元女子ソフトボール 日本代表監督)に協力をお願いしたい

道祖土証

問 小学校の統廃合について。

4月21日第1回統合協議会が開催され、統合に向けた具体的な作業がスタートしました。協議会を進めるにあたり、課題の整理、協議会組織の運営、委員の任期、事務局の体制、町民への説明、小中一貫校の調査など、どの様に協議を進めていくのか伺う。

答 教育総務課長 協議内容を3つの大項目に整理、更に個別の協議項目を120ほどに細分化しています。大項目ごとに3部会を設け、さらに中項目を班で対応し協議を進めます。また2年間のタイムスケジュールの

問 三保谷・出丸小学校に対応した学童整備を

答 統合協議会の推移を見ながら判断したい

飯野徹也



かわじま学童クラブ

中で誰が、何をいつまでに決めるか明確にして、進めています。

答 教育長 協議項目に小中一貫教育を入れて検討しています。教育委員会では先進事例の視察研修を進めて調査・研究していきます。

問 かわじま学童クラブについて。

小学校の統廃合に伴い、(仮称)三保谷・出丸小学校を対象とした学童クラブの設置を求める要望書が、川島学童保育会より出ている。要望理由は、現在、町の条例で定員が40人なので、このままでは待機児童が出てしまうこと、児童を迎える保護者の負担が大きいこと、放課後の子供の居場所づくりに対応するための3点ですが町の考えを伺う。

答 町長 今後の児童数の推移や統合の方向性、保護者のニーズなどを踏まえ判断していく。



郷土資料館(仮称)の整備計画は

小学校統合後の跡地活用等を検討します

菊地敏昭

問 児童館、学習支援センターの設置、郷土資料館整備計画は。

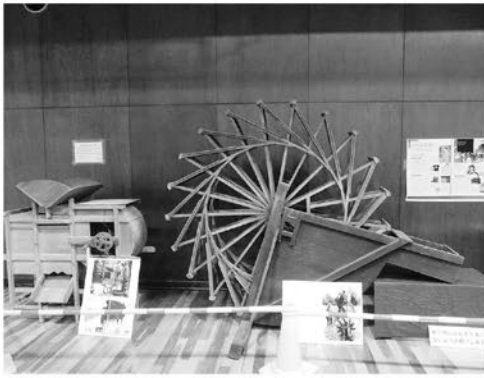
答 町長 次代を担う子供たちの育て環境、教育環境の充実、川島の歴史や文化を後世に伝えていく必要

問 通学路の安全対策は。

答 教育総務課長 交通安全教育をより一層指導、徹底します。

問 タブレット端末の導入計画は。

答 教育総務課長 今年度、中山小



古民具古農具展示 (中央文化展)

に13台導入し、4〜6年生の授業に、電子黒板と共に活用して、教育効果の検証をしてみたい。

問 20年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた町の取り組みは。

答 町長 川越都市圏まちづくり協議会において、開催を契機とした観光客の誘致を推進しており、町でも観光客向けに、無料WiFiスポットの設置を進めます。

問 町のPRの為に、観光担当のグループ化の考えは。

答 町長 人を呼び込む観光・交流の活性化を掲げて政策を進めます。

問 かわじま朝市、JA農産物直売所、かわじま工房、商工会等の支援体制は。

答 農政産業課長 朝市当日の準備から後片づけまで商工会と一緒に協力支援、また、かわじま工房も建設から10年が経ち施設の老朽化が進んでいるので十分協議しながら、計画

に対応しています。

問 かわじま春まつりの意義や効果、来年に期待するところは。

答 町長 イベントは地域活性化の手段の一つであり、また地域コミュニティ意識の培養でもある。また、町外の方へのPR、行政のイメージアップが高められたと確信。来年度に向けての会議で点検、評価を行い、一層楽しいイベントにしたい。

問 バラの小径のライトアップ中、トンネルに行くまでの通路が暗く危険と思われるが対応は。

答 まち整備課長 平成の森公園のライトアップ事業等も案件としてある中で、総合的に安全対策の必要性

農地中間管理事業の位置づけは

事業の活用を積極的に進めていきたい



松原謙司

問 設立を検討している農業公社のイメージは。

答 町長 町が関連する農業公社だから安心して農地を貸し出せる、あるいは、安心して耕作できるというように、農家が安心して農地を任せられるような状況をつくりたい。

問 農地中間管理事業の位置づけや今後については。

答 農政産業課長 農地中間管理事業及び人・農地プランを活用し、農地の集積を昨年度より本格的に開始。農地中間管理事業に基づく貸し借りだけでなく、農業経営基盤強化促進法に基づく貸し借りも並行して実施していく。

問 ごはん料理コンテストの内容は。

答 農政産業課長 7月からレシピの募集を行い、10月にコンテストを開催。表彰は農業商工祭で行う予定。



農地中間管理機構による大規模区画化工事 (滑川町)



障害者差別解消法

(注)正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。

問 障がい理由とする差別の解消を推進し、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会の実現を目指して、障害者差別解消法がスタートしました。町ではどのように取り組みをしたのか伺います。

答 **町長** 職員には、法律の趣旨を理解し日頃の業務にあたるよう指導しています。また、民間業者には商工会と連携し、普及啓発を図ってまいります。一過性のものでなくノーマライゼーションの思想を浸透させ



問 障害者差別解消法の取り組みは

答 法の趣旨を理解し周知する

新井悦子

自分らしく生きられる「福祉のまちかわじま」を目指してまいります。

答 **健康福祉課長** 新庁舎は、ユニバーサルデザインにより建設されましたが、既存の施設もバリアフリー化されていない部分は随時実施してまいります。また、職員への研修も積極的に実施し、意識改革に努めてまいります。

問 障がい者用駐車場には、内部疾患を持つ方なども気軽に駐車できるような表示マークがあると親切だと思ふ。また、視覚や聴覚に障がいを持つ方などへの緊急時の伝達方法として、ベルや赤色灯などで知らせる考えは。

答 **健康福祉課長** 国際シンボルマークである車椅子のマークは、車椅子を利用する障がい者のためだけでなくこのPRするともに表示を検討します。また、緊急時の伝達方法については、障がいにより対応への差異がありますので検討してまいります。

キリトリ

アンケート あなたの声をお聞かせください!

川島町議会では、開かれた議会、町民の方に親しまれる議会を目指すため、アンケートを行うことになりました。また、はがき、お手紙などでこの用紙に限らずご自由にご意見をお寄せください。

- (問1) 議会だよりを読んでいますか? (○で囲んでください)
- ①毎回読む ②時々読む ③読んでいない
- (問2) 議会傍聴に来られることはありますか? (○で囲んでください)
- ①行ったことがない ②数回 ③良く行く ④ほぼ毎回
- (問3) 議会や議会だよりにご意見・ご要望・ご感想などをお寄せください。



ご意見・ご要望・ご感想など

※アンケートは、メール・郵便・FAX・直接ご持参いただくか、お近くの議員にお渡しください。
 ※ご提出いただいた方の中から、抽選で10名の方に粗品を差し上げますので、希望する方は住所・氏名をご記入ください。

ご持参場所：川島町議会事務局（川島町役場2F）
 郵便：〒350-0192 埼玉県比企郡川島町大字下八ツ林 870 番地 1 TEL:049-299-1759 FAX:049-297-9346
 E-mail:gikai@town.kawajima.saitama.jp http://www.town.kawajima.saitama.jp

キリトリ

議会日誌

5月

- 16日 比企郡町村議会議長会定期総会
- 28日 西中学校体育祭

6月

- 1日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 4日 川島中学校体育祭
- 8日~14日 6月定例会
- 14日 議会全員協議会
議会報編集委員会

7月

- 1日 議会報編集委員会
- 11日~12日 総務経済建設常任委員会
所管事務調査
- 13日 議会報編集委員会
- 15日 議会全員協議会

川越地区消防組合議会

小山高 春雄
山田敏夫
爲水順二

川越地区消防組合議会第1回定例会が3月23日に開催されました。平成28年度一般会計当初予算などの11議案について審議されました。平成28年度予算については、歳入歳出それぞれ50億4938万7千円を定めるものです。審議の中で、消火活動が困難な狭隘地域の問題や現状について質疑があり、道路狭隘地域については川越市、川島町で合計22カ所ある。消防活動上、それぞれの車両の進入経路、車両の部署位置、防御体制等を定めた署警防計画を策定し、消防部隊の活動対策に万全

を期している旨の答弁がありました。採決の結果、全11議案とも原案どおり可決決定いたしました。最後に1名の議員による「災害や緊急時の救急医療体制について」一般質問が行われ、第1回定例会は終了しました。(爲水)

次回9月の定例会
9月6日
開会予定です。

川島町マスコットキャラクター



かわみん

かわべえ

表紙解説

過日、JA川島農産物直売所の生産者部会が、直売所利用家族を対象に『親子田植え体験』を実施し、8家族33名が参加しました。初めて裸足で田んぼに入る子どもたちも多く、おぼつかない足取りで恐る恐る田んぼに入りましたが、次第に慣れ、土のヌルとした感触が好きになったようであった。横一列に並び一本一本苗を植え、中には泥んこの子どももいたが皆楽しそうであった。最近、農業への新規就農者が増えつつあると聞きます。この中から農業に興味を持つ子らがいると嬉しいです。心癒される田園風景を、後世に残していきたい。(写真・文章/小峯)

編集後記

7月に入り、長かった梅雨も終わろうとしています。水田では、稲が元気に成長し、緑一面のじゅうたんを広げた景観になりました。水面では、あっちこっちでカエルの鳴声が聞こえます。今年の田植期には水不足が深刻で、この編集後記を書いている現在、上流の水源の貯水ダムでは、水が少なく取水制限をしています。雨乞いをしてでも雨がほしいですが、反面多すぎても心配です。この議会だよりが、皆様の手に届く頃には、取水制限が解除されればと思います。私たちの生活に必要な、適量な雨量を願うところです。(遠山)

議会報編集委員会

委員長	飯野徹也
副委員長	新井悦子
委員	遠山尚
委員	小松治
委員	稲村松
委員	川原美代子
委員	石原謙司
相談役	川原謙司